

## 講義題目 イノベーション/リーダーシップ入門

担当教員 北岡康夫 松行輝昌 (共創機構)

### 授業の目的と概要

グローバル化やデジタル化などにより激変する現代の世界において、イノベーションは新しい価値を生み出し、それを社会に浸透させる重要な活動です。この授業では、イノベーションに関する知識を学ぶだけではなく、イノベーションを引き起こすリーダーシップについて学びます。このため、イノベーションとリーダーシップにおいて重要な知識や能力を身につけるとともに、イノベーションを実践してきた各界のリーダーをゲストにお招きし、

みなさん自身がイノベーションを引き起こす人材となるための刺激とヒントを提供します。また、授業運営の一部を受講生自身が行うことにより実践的なリーダーシップを身に着けます。

### 学習目標

- 1) リーダーシップとは何か説明できる
- 2) イノベーションを引き起こすリーダーシップのポイントを説明できる
- 3) イノベーションにおけるビジネスモデル、経営戦略、法律、テクノロジーの役割について説明できる
- 4) 上記1)から3)をふまえて日常生活の中でイノベーションを引き起こすリーダーシップを実践できる

### 履修条件・受講条件

(受講理由書)

シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書をメールで提出してください。提出内容はA4用紙一枚以内(Word ポイント11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。メールは<glp@osipp.osaka-u.ac.jp>宛、必ず表題に「**2021 イノベーション/リーダーシップ入門(受講者名)**」を表記すること。締切4月末日。

### 授業計画

第1回 オリエンテーション

第2回 イノベーションとリーダーシップ1

第3回 イノベーションとリーダーシップ2

第4回 ゲスト講義1

- 第5回 ゲスト講義2
- 第6回 ゲスト講義3
- 第7回 中間振り返り
- 第8回 ゲスト講義4
- 第9回 ゲスト講義5
- 第10回 ゲスト講義6
- 第11回 イノベーションとビジネスモデル
- 第12回 イノベーションと法律
- 第13回 イノベーションと経営戦略
- 第14回 イノベーションとテクノロジー
- 第15回 まとめ

#### 授業外における学習

(合宿について) \*希望者

日程： 日程： 土日（1泊2日/日帰り）※ コロナ情勢により、変更する可能性あり

場所： 株式会社パソナグループ様研修施設（兵庫県淡路島）

参加費・交通費： 無料

#### 教科書・教材

- ・GLP 共通テキスト（授業中に配布するリーダーシップに関するテキスト）
- ・適宜資料を用意する（CLE掲載または配布）

#### 参考文献

以下の他は、講義中に指示します。

野村美明ブログ <http://nomurakn.blogspot.jp/> =リーダーシップに関する教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

マーティ・リンスキ、ロナルド・A・ハイフェッツ/竹中平蔵訳『最前線のリーダーシップ』（ファーストプレス 2007年）（原著 Ronald A. Heifetz "Leadership on the Line" (Harvard Business School Press, 2002)=共通テキストが引用している本です。

『リーダー・パワー』 ジョセフ・S・ナイ（日本経済新聞出版社 2008年）（原著 Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008)=共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロツ・パarks/中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』（ランダムハウス講談社、2007年）（原著 Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005)。

平田オリザ・蓮行『コミュニケーション力を引き出す』（PHP研究所、2009年）

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫 2008年。プログラムデザインやファシリテーシ

ヨンスキルが学べます。

### 成績評価

- ① 受講理由書, ②平常点 (役割分担+発言内容+振り返りシート+自己評価+相互評価),  
③学期末レポート, ④役割達成度 (業務報告、メールのやりとり、プレゼンテーション  
など) を加味して、総合的に評価します。
- ・受講理由書と学期末レポート (総合振り返り) の2つを提出することによって、受講前  
後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。
- ・無断欠席した者は評価の対象としません。無断で遅刻・早退した場合も同様とします。

### 特記事項

この授業はグローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) の一部です。GLP で開講する  
科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につける  
ことができます。秋冬学期水曜 6 限の「リーダーシップを考える」は、この授業で学んだ考え方やス  
キルをより深く学ぶものです。また、秋冬学期木曜 4 限の「経営者と学ぶリーダーシップ」  
では、ビジネスにおけるリーダーシップを学びます。

### 受講生へのメッセージ

授業目的に共感し、対話型授業と協動作業に積極的に参加する学生を望みます。